海外安全対策情報（平成３１年４月～令和元年６月）

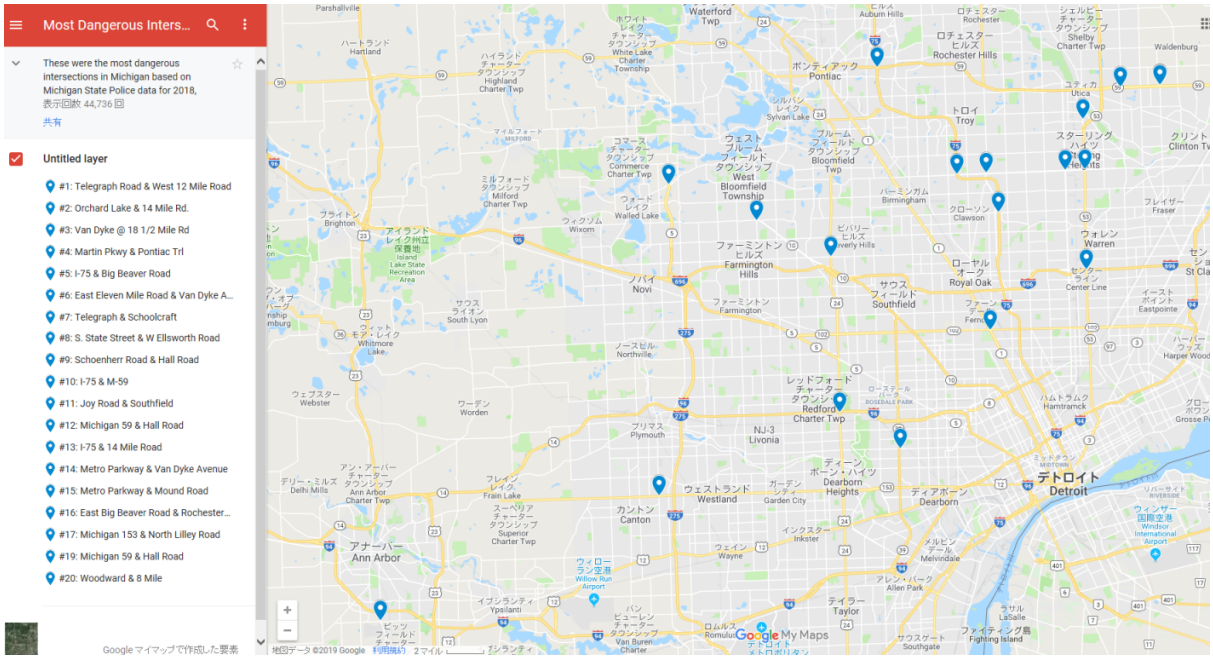
１．犯罪発生状況

管轄内の主要都市と邦人が多く居住する地域の犯罪発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2019年4月1日から6月30日。括弧内は前年比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	侵入盗	車上荒らし	自動車盗
ミシガン州	デトロイト	64 (−5)	398 (+181)	468 (−132)	1425 (−417)	1169 (−489)	1364 (−211)
	ノバイ	0 (−0)	0 (±0)	2 (±0)	9 (+3)	39 (+20)	10 (+6)
	アナーバー	0 (−2)	28 (+12)	15 (−1)	45 (−11)	269 (+215)	23 (+10)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (±0)	4 (−2)	24 (−17)	65 (−9)	8 (−8)
	コロンバス	4 (−28)	0 (−12)	116 (−372)	228 (−1210)	383 (−1430)	189 (−632)
	シンシナティ	20 (±0)	60 (−20)	97 (+7)	413 (−67)	698 (+54)	316 (−17)

２．地域情報

（１）ミシガン州内の交通事故多発地点について



Michigan Auto Law によると、2018 年の交通事故多発交差点の上位 20 カ所の内訳は，マコーム郡（8 カ所）、オークランド郡（7 カ所）、ウェイン郡（4 カ所）、ウォッシュトノ

一郡（1カ所）となっており、最も事故が多かった交差点はオークランド郡サウスフィールドにあるTelegraph Rd@12 Mile Rd（事故総件数145件うち人身事故24件）でした。上位3位を占める郡は昨年と同じ順位であり、これら事故多発エリアを運転する場合は特に注意が必要です。

参照：https://www.clickondetroit.com/traffic/traffic-center/michigan-s-20-most-dangerous-intersections-in-2018

３．テロ情勢

ミシガン州及びオハイオ州における具体的な脅威情報には接していませんが、当地治安当局も「個人によるテロ攻撃を完全に阻止することは困難で、いかなる場所でも注意は常に必要」との見解を示しています。イベント会場やショッピングモール、空港など多数が集まる場所では、特に周囲の状況に配意し、挙動不審な者や置き去りのバッグなど不審を感じた際は、その場を離れるようにして下さい。また、事件に遭遇した場合は被害を最小限に抑えるため、警察官等の指示に従い行動する、パニック状態となった群衆の中で負傷するおそれもあるので、周囲がパニック状態になっても冷静を保つように努める等に留意して下さい。

４．日系企業の安全等に関わる諸問題

デモやヘイトクライムなど対日感情の悪化に関係する事案は把握していません。